

■遠藤周作 カトリックを背景に、純文学とユーモア小説を見事に書き分け、社会的発言も活発に行なった。

えんどうしゅうさく

関東大震災・1923＝ 東京巢鴨で、遠藤常久・郁子の次男に生まれる。

円本時代始・1926＝ 3歳：父の転勤で満州の大連に移り、

世界恐慌・・1929＝ 6歳：大連市大広場小学校に入学。

成績は芳しくなかったが、初めての作文や詩が{大連新聞}に掲載されるなど、文才を発揮、

満州事変・・1931＝ 8歳：

五一五事件・1932＝ 9歳：

国際連盟脱退1933＝10歳：両親が離婚したため、母に連れられ日本に戻り、神戸市六甲小学校に転校。

芥川直木賞始1935＝12歳：兄とともに、夙川カトリック教会で、受洗。洗礼名ポール。

日中戦争始・1937＝14歳：

大政翼賛会・1940＝17歳：旧制灘中学校を卒業、

日米開戦・・1941＝18歳：上智大学予科に合格、ドイツ語専攻するも、

・・・・・1942＝19歳：退学するなど、

創価学会検挙1943＝20歳：3年間の浪人生活を経て、慶大文学部予科に入学するが、医学部と思っていた父が激怒して勘当され、カトリック哲学者吉満義彦が舎監を務めるカトリック学生寮に入る。

年金+総武装 1944＝21歳：肋膜炎を患ったため、召集されず、佐藤朔の著書に出会ってフランス文学を志し、

敗戦・・・1945＝22歳：仏文科に進学し、恩師の佐藤朔や舎監であった吉満義彦から影響を受け、

新憲法施行・1947＝24歳：***初のエッセイ「神々と神と」が認められ、{四季}に掲載。「カトリック作家の問題」を{三田文学}に発表。**

三大事件・・1949＝26歳：同人となる。慶応義塾大学文学部仏文学科を卒業。

朝鮮戦争始・1950＝27歳：**戦後、最初の留学生としてフランス・リヨン大学大学院へ留学するが、**

独立回復・・1951＝28歳：

現代カトリック文学を研究、

TV放送始・・1953＝30歳：**体調を崩し、帰国。処女エッセイ集「フランスの大学生」。山本健吉により”第三の新人”と目され、**

自衛隊発足・1954＝31歳：「カトリック作家の問題」、

55年体制始・1955＝32歳：慶大後輩の順子と結婚。***「白い人」で芥川賞。**

なべ底不況・1957＝34歳：{文学界}に「海と毒薬」を発表し、

インストターメン・1958＝35歳：**新潮社文学賞、毎日出版文化賞を受け、文壇的地位を確立。**

美智子妃・・1959＝36歳：**最初の切支丹小説「最後の殉教者」を発表。**

安保闘争・・1960＝37歳：**結核を再発し、**

タイタイ病始・1961＝38歳：三度の肺の手術を受け、闘病生活。

TV宇宙中継始1963＝40歳：**再起し、長編「わたしが・棄てた・女」を{主婦の友}に連載。「午後のおしゃべり」を{芸術生活}に連載し、「狐狸庵閑話」と命名。**

いざなぎ景気1966＝43歳：**話題になった書下ろし長編「沈黙」で谷崎潤一郎賞。**

震ヶ関ビル・1968＝45歳：

大阪万博・・1970＝47歳：ローマ法王庁より、シルベストリ勲章。

ドルショック・・1971＝48歳：「沈黙」が篠田正浩監督により映画化された。

日中国交回復1972＝49歳：ネスル日本のTV広告に出て話題になった。中央教育審議会委員になる。

石油ショック1973＝50歳：**「ぐうたら人間学」がベストセラー。「死海のほとり」「イエスの生涯」を刊行。**

クアランプール事件1975＝52歳：**「遠藤周作文学全集(全11巻)」が刊行される。**

JALハイジャック・1977＝54歳：仲の良かった兄が死去して衝撃を受ける。**芥川賞選考委員となる。**

成田衝突・・1978＝55歳：***「イエスの生涯」で国際ダグハマースホルド賞を受賞。「キリストの誕生」を刊行し、**

革新大敗北・1979＝56歳：**読売文学賞評論・伝記賞。日本芸術院賞。**

貿易摩擦問題1980＝57歳：**「侍」で野間文芸賞。この頃、ズブの素人劇団{樹座}{樹座おおいた}や音痴で楽譜の読めないオヤジの合唱団{コール・パパス}を結成し、座長となる。**

・・・・・1981＝58歳：**芸術院会員。**

中曽根内閣・1982＝59歳：

ジャンボ機墜落1985＝62歳：**以降4年間、日本ペンクラブ会長をつとめる。アメリカのサンタクララ大学から名誉博士号。**

バブル始・・1986＝63歳：熊井啓監督、遠藤周作原作の映画「海と毒薬」が封切り。

竹下内閣・・1987＝64歳：「沈黙」の舞台、長崎県西彼杵郡外海町に「沈黙の碑」完成。

リクルート事件・1988＝65歳：**文化功労者。**

ソ連崩壊・・1991＝68歳：**アメリカのジョン・キャロル大学・台湾の輔仁大学から名誉博士号。**

バブル崩壊・1992＝69歳：**腎臓病を発病し、**

55年体制終・1993＝70歳：**入退院繰り返す闘病生活のなか、集大成といえる「深い河」を刊行し、**

自社と連立・1994＝71歳：***毎日芸術賞。最後の小説「女」を{朝日新聞}に連載。**

村山内閣事件・1995＝72歳：**文化勲章。**

・・・・・1996＝73歳：**自らの闘病体験から「医療に愛を」と訴え続けて、没した。**